

地方創生の実現に向けた主な取組み

	ひとを育む	しごとをつくる	岐阜に呼び込む	安心をつくる	まちをつなぐ																																																
これまでの実績・主なKPI	<p>○子育て世帯への経済的支援、ワーク・ライフ・バランスや女性の活躍の推進などの取組みの成果もあって、出生率は一定の改善をみたが、目標達成には更なる取組みが必要。</p> <p>○あらゆる分野において、担い手確保・育成の支援体制を構築したが、有効求人倍率が高止りするなど、依然として人手不足の解消は喫緊の課題。</p> <table border="1"> <tr> <td>合計特殊出生率 (2030 : 1.8)</td> <td>1.42 (2014)</td> <td>→</td> <td>1.51 (2017)</td> </tr> <tr> <td>WLB推進企業 (累計3,300企業)</td> <td>1,477 (2014)</td> <td>→</td> <td>2,803 (2015~17)</td> </tr> <tr> <td>新規就農者数 (400人)</td> <td>328 (2014)</td> <td>→</td> <td>487 (2017)</td> </tr> </table>	合計特殊出生率 (2030 : 1.8)	1.42 (2014)	→	1.51 (2017)	WLB推進企業 (累計3,300企業)	1,477 (2014)	→	2,803 (2015~17)	新規就農者数 (400人)	328 (2014)	→	487 (2017)	<p>○成長産業人材育成センターやモノづくり教育プラザの整備、試験研究機関の機能強化等を推進し、航空宇宙など成長分野における企業支援を強化。</p> <p>○主要観光地の磨き上げや新たな地域資源の発掘、岐阜ブランドの発信などにより、外国人宿泊者数は100万人レベルにまで拡大したほか、飛騨牛の輸出量は目標の2倍近くまで増加。</p> <table border="1"> <tr> <td>航空宇宙産業の製造品出荷額 (2022 : 4,000億円)</td> <td>2,162 (2012)</td> <td>→</td> <td>2,571 (2014)</td> </tr> <tr> <td>観光消費額 (3,200億円)</td> <td>2,659 (2013)</td> <td>→</td> <td>3,114 (2016)</td> </tr> <tr> <td>飛騨牛の輸出量 (24t)</td> <td>16 (2014)</td> <td>→</td> <td>43 (2017)</td> </tr> </table>	航空宇宙産業の製造品出荷額 (2022 : 4,000億円)	2,162 (2012)	→	2,571 (2014)	観光消費額 (3,200億円)	2,659 (2013)	→	3,114 (2016)	飛騨牛の輸出量 (24t)	16 (2014)	→	43 (2017)	<p>○三大都市圏での情報発信・相談機能の強化や地域ぐるみでの定着促進により、県内への移住者数は7年連続で増加。</p> <p>○成長産業分野や景気の影響を受けにくい分野に特化した企業誘致を推進し、県内への工場立地は好調を維持。</p> <p>○一方、県外への転出超過が拡大しており、若い世代が活躍できる更なる受け皿・魅力づくりが必要。</p> <table border="1"> <tr> <td>移住者数 (累計6,000人)</td> <td>2,274 (2010~14)</td> <td>→</td> <td>3,752 (2015~17)</td> </tr> <tr> <td>県外転出超過数 (1,900人)</td> <td>4,014 (2014)</td> <td>→</td> <td>5,756 (2017)</td> </tr> <tr> <td>新規企業立地件数 (累計180件)</td> <td>154 (2010~14)</td> <td>→</td> <td>108 (2015~17)</td> </tr> </table>	移住者数 (累計6,000人)	2,274 (2010~14)	→	3,752 (2015~17)	県外転出超過数 (1,900人)	4,014 (2014)	→	5,756 (2017)	新規企業立地件数 (累計180件)	154 (2010~14)	→	108 (2015~17)	<p>○消防団員確保に向けた交付金・減税制度等により、充足率は着実に増加。</p> <p>○地域枠などの取組みによって、医師の総数確保には一定の目途がつつあるが、地域偏在や診療科偏在の是正が課題。</p> <p>○介護職員数は増加傾向にあるが、職員不足解消に向けて、更なる取組みが必要。</p> <table border="1"> <tr> <td>消防団員の充足率 (98.0%)</td> <td>92.6 (2014)</td> <td>→</td> <td>95.0 (2017)</td> </tr> <tr> <td>10万人当たり医師数 (2023 : 235.9人)</td> <td>195 (2012)</td> <td>→</td> <td>208.9 (2016)</td> </tr> <tr> <td>介護職員数 (2025 : 39,696人)</td> <td>27,140 (2013)</td> <td>→</td> <td>30,702 (2016)</td> </tr> </table>	消防団員の充足率 (98.0%)	92.6 (2014)	→	95.0 (2017)	10万人当たり医師数 (2023 : 235.9人)	195 (2012)	→	208.9 (2016)	介護職員数 (2025 : 39,696人)	27,140 (2013)	→	30,702 (2016)	<p>○関ヶ原古戦場を核とした広域観光、岐阜かかみがはら航空宇宙博物館のリニューアル、「ひがしみの歴史街道」における周遊滞在型観光など、県と市町村等との連携による地域の活性化を推進。</p> <p>○新たに、NHK連続テレビ小説「半分、青い。」を活用したドラマツアーリズムや中部山岳国立公園及びその周辺地域の魅力向上への取組みに着手するなど、地域資源の更なる活用を図った。</p>
合計特殊出生率 (2030 : 1.8)	1.42 (2014)	→	1.51 (2017)																																																		
WLB推進企業 (累計3,300企業)	1,477 (2014)	→	2,803 (2015~17)																																																		
新規就農者数 (400人)	328 (2014)	→	487 (2017)																																																		
航空宇宙産業の製造品出荷額 (2022 : 4,000億円)	2,162 (2012)	→	2,571 (2014)																																																		
観光消費額 (3,200億円)	2,659 (2013)	→	3,114 (2016)																																																		
飛騨牛の輸出量 (24t)	16 (2014)	→	43 (2017)																																																		
移住者数 (累計6,000人)	2,274 (2010~14)	→	3,752 (2015~17)																																																		
県外転出超過数 (1,900人)	4,014 (2014)	→	5,756 (2017)																																																		
新規企業立地件数 (累計180件)	154 (2010~14)	→	108 (2015~17)																																																		
消防団員の充足率 (98.0%)	92.6 (2014)	→	95.0 (2017)																																																		
10万人当たり医師数 (2023 : 235.9人)	195 (2012)	→	208.9 (2016)																																																		
介護職員数 (2025 : 39,696人)	27,140 (2013)	→	30,702 (2016)																																																		
平成29年度実施状況	<p>○非婚化・晩婚化対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 親世代向けのセミナーの新規開催や広域でのお見合いコーディネートを実施 <p>○子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2子以降の放課後児童クラブ利用料減免助成制度を創設 <p>○男女が共に活躍できる社会の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍推進に向けたサミットを初開催 <p>○地域経済を支える人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中小企業総合人材確保センター」を開設し、個別支援した約半数が採用 「建設ICT人材育成センター」「岐阜県建築担い手育成協議会」を開設し、業界の魅力を発信 <p>○農業の担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農相談から営農定着までを一貫して支援する「ぎふアグリチャレンジ支援センター」を設置 	<p>○企業支援機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業が行うIoTの導入計画策定や設備投資に対する助成制度を創設。スマートものづくり指導者を派遣 岐大構内において「食品科学研究所(仮称)」の建築工事に着手 <p>○航空宇宙産業の製造品出荷額倍増</p> <ul style="list-style-type: none"> 「モノづくり教育プラザ」の運用を開始し、県内5校の生徒が研修を受講 <p>○観光産業の基幹産業化</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ひがしみの山城」を新たに「岐阜の宝もの」に認定し、磨き上げ <p>○県産品の販路拡大・海外展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たにフランス、スペイン、タイでグローバルアンテナショップを構築 米仏において、美濃和紙ブランドのPRやテストマーケティングを実施 <p>○100年先の森林づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「岐阜樹木育苗センター」を整備し、コンテナ苗の出荷を開始 	<p>○移住定住の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 移住者数は過去最高の1,313人 学生等のUターンを促進する奨学金を専修学校専門課程にも拡充 <p>○企業誘致の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造業の工場立地件数は30件で、全国12位と好調を維持 <p>○「産学金官連携人材育成・定着プロジェクト」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オール岐阜・企業フェス」の規模を拡大し、2,233人の学生・保護者と253の企業・団体が参加 <p>○国内外からの観光誘客</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界に誇る遺産等を活用し、誘客プロモーションを展開 <p>○スポーツ・文化を通じた交流の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 英国と高トレエリアでの東京五輪事前合宿に係る契約書を締結 県博物館機能の全県展開として、県図書館で「関ヶ原展」を実施 	<p>○暮らしの安全・安心の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動におけるリーダー等を養成する講座を開催し、87人が受講 リニア開通を見据え、基盤整備を行う市町村への助成制度を創設 <p>○地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の防災リーダーを養成する講座を開催し、197人が受講 消防学校内に、実際の現場に近い環境で訓練ができる施設を新たに整備 <p>○医療と福祉の充実・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療と介護の連携を担うコーディネーターを養成する研修会を初開催 岐阜市内に、訪問看護のサポートセンターを設置 <p>○空き家等対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村が行う空き家の利活用・除却に関する助成制度を創設 	<p>○関ヶ原町との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 誘導・史跡解説サインを整備したほか、ウォーキングコースを設定 「関ヶ原古戦場ビジターセンター(仮称)」の整備概要を発表 <p>○各務原市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」をリニューアルオープン <p>○美濃市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要拡大に重点を置いた新たなアクションプランを策定 <p>○リニア沿線7市町との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ひがしみの歴史街道協議会」を設立し、リニア沿線の観光資源を活用した観光パスポート事業等を実施 連続テレビ小説「半分、青い。」を活用し、関連商品等を開発 <p>○高山市との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 中部山岳国立公園の活性化に向けた基本構想・基本計画を策定 																																																

